

第2回岩手県地域公共交通活性化協議会県南地域部会 議事要旨

1 日時

平成30年9月10日（月）14:30～16:30

2 場所

奥州市（奥州地区合同庁舎 1階第1会議室A）

3 主な議事内容

- (1) 岩手県地域公共交通網形成計画の骨子（案）について
- (2) 県南地域の将来的な公共交通ネットワーク（叩き台）について

4 主なご意見等

- (1) 岩手県地域公共交通網形成計画の骨子（案）について
 - ・ 「事業主体」とあるが、県だけではなく、市町村やバス事業者等の事業も組み入れていくということか。
⇒（事務局）そのとおり。
 - ・ 目標を達成するために必要となる予算措置等も含めた具体的な計画を盛り込む形となるのか。
⇒（事務局）これからの検討事項ではあるが、例えば現行事業の拡充などを考えている。
 - ・ 被災地特例の終了に伴う県としての考え方や対策が網形成計画に載るということでいいのか。
⇒（事務局）そのとおり。既存事業も絡めて、被災地特例終了後の交通体系の構築を支援する体制とすることを考えている。
- (2) 県南地域の将来的な公共交通ネットワーク（叩き台）について
 - ・ 県全体のバス利用者数を示したうえで、うち幹線路線の利用者数を示した方が県民は理解しやすいのでは。
 - ・ 花巻空港関連では、北上工業団地や金ヶ崎工業団地へ移動する際に接続が悪いという話はある。

- ・ 国道北線について、例えば北上工業団地を経由するようにし、従業員に定期券を購入していただくことでかなり乗車密度が改善される。
- ・ 成田線を空港に接続、もしくは成田線の一部重なるような路線を作れば、乗車密度の向上が見込めるのではないか。
- ・ 通勤・通学の流動だけでなく、通院の流動もデータとしてあれば参考になるのではないか。
- ・ 免許返納した方の通院手段の確保を想定した計画にする必要があるのではないか。
- ・ 金ヶ崎駅を交通結節点としたいが、国道北線の乗り入れが物理的に難しい状況。
- ・ 合併した旧市町村の交通形態がそのまま残っていることが課題。
- ・ 鉄道と並走する幹線バス路線について、利用実態としては短距離の利用が多い。そのため、鉄道に接続し、幹線は鉄道に任せる方法もあり得る。
- ・ 網形成計画の構成について、ガイドラインに沿った作り込みであれば、各項目の順番が前後しても問題ない。
- ・ 県南地域は工場が設置される関係で、今後人口が増えてくることが予想され、通勤圏も広範囲に及ぶ。
- ・ 県には、計画を策定していない市町村との兼ね合いや、計画策定の有無に関わらず市町村と協調して方向性を合わせていけるか、市町村の地域内公共交通を県がどの様にしたいのか、という視点を網形成計画に含めていただきたい。